

# Road to the future

## 令和元年度鹿児島聾学校進路だより第2号



令和元年 12月 10日

進路指導部

文責：内田正博

### ▶ 高等部 職場見学

### ～佛壇の古屋舗，松元機工～



11月8日（金）に高等部職場見学が行われました。今年度は、川辺町にある佛壇の古屋舗と穎娃町の松元機工を訪問しました。佛壇の古屋舗では、一連の作業工程を見た後、金箔貼りの体験をしました。すべてが手作りであり、熟練の技術を学ぶことが出来ました。また、聴覚障害の社員とお話する機会もあり、仕事の厳しさや伝統工芸の奥深さが良く分かりました。

松元機工は、動力式茶摘採機のパイオニアであり、その他サトウキビや多くの農産物の収穫機械を開発・製造・販売しておりアフリカなどにも輸出しています。最新の加工機械を使い、材料を切断する作業や乗用茶摘機械の動く様子などを見学しました。県内には、世界でも有名な企業があることを知り、とても感動しました。最後には、ミニ蒸気機関車に乗せてもらい、楽しく学べた職場見学でした。

### ▶ 進路講演会（先輩の進路講話）～（株）デンソー勤務 渡邊さん～

12月6日（金）に（株）デンソー人事部荒木様と卒業生の渡邊さんをお招きし、先輩の進路講話を行いました。今回は、幼稚部や乳幼クラスの保護者にも参加いただきました。まずは、荒木さんが障害者雇用の取り組みについて話されました。渡邊さんは、仕事の一日の流れや休日の過ごし方など、とても分かりやすく話してくれました。会社の寮から学校へ着くまでのハプニング（携帯紛失～飛行機乗遅れなど）などもあったようですが、常に冷静かつ臨機応変に対応しており、これこそ生きる力だと感心しました。障害のある社員に対しても、多くの支援や配慮が見られ、働きやすい職場であることが分かりました。渡邊さんも、公私にわたりとても充実した日々を過ごしている様子で、生徒も参考になることが多い講演会でした。



### 小学部 セイカ工場見学

1・2・4・6年生で鹿児島市にあるセイカ工場を見学しました。工場内で作られているものや工場の様子について説明を聞いたり、作っている様子を見学したりしました。食べたことがあるおかしも作られているそうです。初めて作る様子を見たので、驚くことが多かったです。工場で働く人の様子も見学しました。みんな白い服を着て、衛生面に気を付けているそうです。安心して食べられるようにしていると分かり勉強になりました。質問タイムでは、自分が知りたいことを質問することができました。どきどきしたけど、しっかりきくことができよかったです。帰りにはおみやげもいただきました。



### 就職選考開始

高校生の就職選考が9月16日から始まりました。本校の高等部及び専攻科の生徒たちも、就職試験に向けて1学期～夏期休業中の補習などで、学科試験対策や面接練習などに真剣に取り組み受験に挑みました。これまでの努力の成果を発揮し、現在約半数の生徒が内定をいただきました。高校生の就職試験では、面接が最重視されます。挨拶や返事の仕方など日頃の様子が反映されます。しかし、これらは一朝一夕に身に付くものではありません。毎日、意識して心掛けていきましょう。また「志望動機」「自己PR」などは必ず質問されます。「自分の思いや考えを自分の言葉で伝えること」、「他の人に負けない自分の強みをもつこと」が内定に近付ける一歩となります。いよいよ2学期も終わります。卒業生全員が希望の進路先に就職できることを願っています。

### PTA 研修視察 ～KYT 鹿児島読売テレビ, 市内福祉事業所～

10月25日(金)にPTA研修視察があり、保護者23人、職員2人が参加し、鹿児島市内の施設5カ所を訪ねました。まずはKYT鹿児島読売テレビへ訪問し、テレビ放送の仕組みを学びました。質問コーナーでは、聾学校ということもあり、聴覚障害者に必要な字幕放送の仕組みや今後の普及の展望についてなどの質問が出ました。保護者がキャスター体験をする機会がありました。2名の保護者が立候補してくださり、達者な手話で表情豊かに伝えるニュースに、保護者のみなさんも大盛り上がりでした。



午後には、紫原にある施設「ひふみよベース」「エルアクト」「みつばちベーカリー」「みつばちキッズ」を徒歩で移動しながら訪問しました。調理やパソコン入力、制作活動など、いろいろな仕事の様子を見たり、保護者が立ち上げた放課後デイの様子を聞いたりすることができました。どの施設も、個人の能力や得意な面に合わせて仕事ができるように工夫されており、子供たちの進路について考える良い機会となりました。

